

養豚の暑熱対策

平成20年7月15日、名古屋気象台より「高温に関する異常天候早期警戒情報」が発表されました。詳細は裏面にあります。

◎ 種 豚

1 室温管理

○開放豚舎では、風通しを良くすることにより豚舎外気温に近づける

- ・強制送風装置による室内空気の入替えをする
- ・細霧装置の繰り返し運転を行う
- ・屋根、壁への断熱材の利用、白色系塗料を塗る
- ・屋根への散水を行う
- ・遮光ネット等の利用による直射日光を遮断する

○ウインドレス豚舎では、換気量を増大させる

- ・エアコンや最新設備を利用する

2 母豚の管理

- ・体感温度を低下させるために送風を行う
- ・早朝とか日没後の涼しい時間帯に飼料給与を行う
- ・涼しい時間帯での移動や交配を行う
- ・高エネルギーの飼料の給与
- ・給水器を点検する

3 雄豚の管理

- ・豚舎内で位置では北側に繋留
- ・精液性状の確認
- ・早朝とか日没後の涼しい時間帯に飼料給与を行う
- ・涼しい時間帯での移動や交配を行う
- ・高エネルギーの飼料の給与
- ・給水器を点検する

◎ 肉 豚

1 室温管理について 種豚に同じ

2 肉豚管理について

- ・飼育密度を通常の8割程にさせる
- ・給水器を点検する

3 出荷管理について

- ・涼しい時間帯での出荷に心がける
- ・輸送時に積み込みすぎないよう密度を減らす



飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 Fax 32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

異常など確認された場合には、至急ご連絡ください。